

鹿児島市立美術館

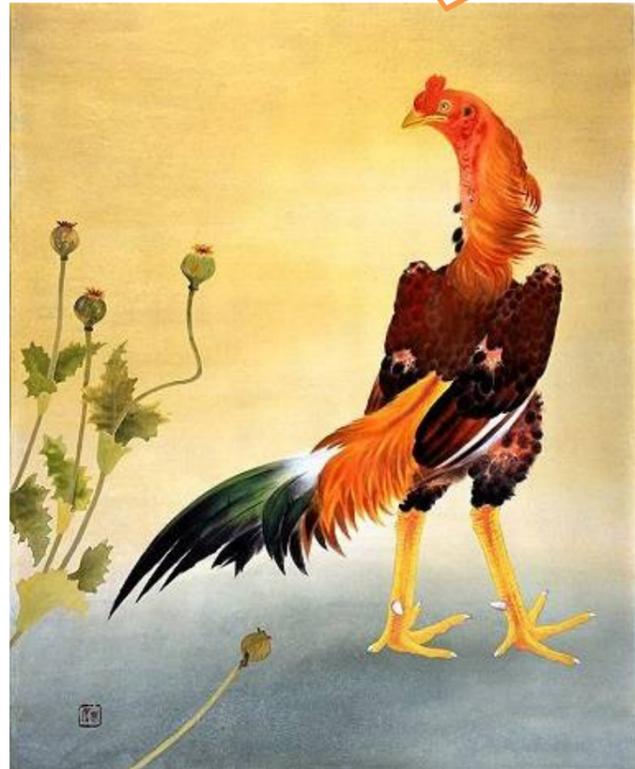
市美だより 2019.4.

闘志に満ちた凛々しい表情に注目!

厳粛な生き様に魅了された画家 満田 天民

満田天民は、明治38年(1905)に鹿児島市西千石町で生まれた日本画家です。18歳で鹿児島初の公募展・南国美術展に入選し、画家を志しました。29歳で上京後、写生を重視する円山派の日本画家・益田玉城の教えを受け、34歳からは活動の地を大阪に移し、花鳥画や風景画を描きました。

修業時代、目をつぶっていても描けるぐらい繰り返し写生するよう指導されスズメの写生を続けた満田は、鳥の生命感を描き出すことにおいて熟練の域に達しています。中でも特に好んで描いたのが「軍鶏」。闘鶏の盛んな鹿児島で目にした軍鶏の勇姿に、一心に日本画と向き合う自身の姿を重ねていたのかもしれませんが。「人の生涯の目的は千差万別である。ただ軍鶏にあふれる厳粛さと闘志が欲しい。」と語っています。



満田天民《軍鶏》1977年

《小企画展》

没後30年記念
ダリの《マルドロールの歌》
4/2(火) - 5/9(木)

サルバドール・ダリ没後30年を記念し、当館が所蔵する銅版画集《マルドロールの歌》50点すべて展示しています。

ダリ自身の油彩画や、ひらめきを受けた他の画家の作品との比較、またロートレアモンの原作の詩とともに見てもらいます。



春の所蔵品展 4月2日(火) ~ 5月19日(日)

●展示中の主な作品●

西洋
油彩画



アルフレッド・シスレー《サン・マヌのロワ河畔の風景》1881年

日本：版画

西洋：彫刻



橋口五葉《髪梳ける女》1920年



シャル・デスピオ《フォル嬢》1925年

西洋
版画

著作権により
ネット上では
画像の公開は
できません。

アンディ・ウォーホル
《ミッキー・マウス》1981年
(寄託)

★ ギャラリートーク (作品解説会)

毎週土曜日、14:00~15:00 実施しています。
※ 参加には観覧料が必要です。

- 4月6日 特別企画展「棟方志功展~世界への序章 富山・福光時代~」
- 4月13日 小企画展「没後30年記念 ダリの《マルドロールの歌》」
- 4月20日 特別企画展「棟方志功展~世界への序章 富山・福光時代~」
- 4月27日 小企画展「没後30年記念 ダリの《マルドロールの歌》」
- 5月4日 春の所蔵品展の西洋美術
5月11日、18日、25日も実施

特集：日本画のあじわい ~郷土作家の戦後の作品から

南大隅町出身の野添草郷(1897~1985)、薩摩川内市出身の松井黎光(1900~1974)、都城市出身の花房芳洲(1905~1980)、鹿児島市出身の満田天民(1905~1985)、知覧町出身の村永定観(1919~1992)ら5人の日本画家にスポットを当てます。洋画王国・鹿児島にゆかりがありながら、日本画の魅力にひかれ、伝統の技法を守りつつ、現代的な表現を生み出していった画家たちです。



満田天民《菜の花》1954年

しっとりとした質感でありながら、岩絵具の粒子がきらめきを放つ、日本画ならではの絵肌のあじわいをお楽しみください。

小学生・中学生

常設展示

無料 開放日！ 始まります。

毎月 第3日曜日

2019年度から、毎月第3日曜日が、小中学生の常設展示無料開放日となります。

通常 150 円の常設展示を無料でご覧になれます。

※特別企画展「棟方志功展」は有料です。

4月は、21日です!

